

## 17 給食の残さ減量化に向けて

厚木市では、学校給食の食べ残し（残さ）の減量化に向けて様々な取組を行っています。

### (1) 給食の食べ残し量

	学 期	令和3年度		令和4年度	
		全体	1人当たり	全体	1人当たり
小 学 校	1学期	20,041.9kg	約1.81kg	22,007.8kg	約2.02kg
	2学期	21,139.5kg	約1.91kg	27,133.5kg	約2.49kg
	3学期	13,398.7kg	約1.21kg	13,792.7kg	約1.27kg
中 学 校	1学期	23,457.7kg	約4.13kg	23,634.2kg	約4.16kg
	2学期	28,027.5kg	約4.94kg	25,484.7kg	約4.48kg
	3学期	13,872.8kg	約2.44kg	10,936.7kg	約1.92kg

### (2) 食べ残しを減らす取り組み

食べ残しの理由は、食べられる量の個人差など、子どもたちによって様々ですが、理由の1つに「好き嫌い」が挙げられます。特に野菜、豆類などの献立を残しがちである傾向があります。

調理時に味付けや調理方法を工夫したり、給食時間に担任教諭による食育の充実を図るなど、食べ残しを減らすために、教育委員会、学校、栄養士が一丸となって取り組んでいます。